

大規模商談会「長崎ビジネス交流会2013」を開催しました。

ふくおかフィナンシャルグループ（FFG）の親和銀行は、平成25年12月6日に、長崎県立総合体育館（長崎市）で、長崎県下全自治体（長崎県及び13市8町）との共催により大規模商談会「長崎ビジネス交流会2013」を開催しました。今回は、本交流会の模様をご紹介します。

■長崎で過去最大規模の商談会。174社が出席、4,000名が来場

本交流会は、「食品」「ものづくり」「まちづくり」「シルバードビジネス」「ソリューションビジネス」「産学官連携」の各分野の企業に、新たな販売先や仕入先の開拓等、ビジネスチャンスやネットワーク拡大の機会を提供することを目的に開催しました。長崎地区のお取引先を中心に出席いただき、その数は長崎で行う商談会で過去最多の174社とな

り、来場者は4,000名を数えました。

また、今回の交流会では、出展企業同士や出展企業と食品バイヤーとの間で約500件もの商談が実施されました。その他、商品展示を通じた来場者とのフリー商談も多数行われ、会場は大変な盛り上がりを見せていました。出展企業からは「具体的な商談につながった」、「自社のPRが十分に出来た」等、ご好評の感想を多くいただきました。



①お客様を出迎えるユーモ ②長崎カスタム ③④賑わいをみせる展示ブース ⑤こだわりの商品をPR ⑥オープニングセレモニーの様子[左から小幡頭取（親和銀行）、石塚副知事（長崎県）、福田専務（親和銀行）]

■長崎県下全自治体が 観光や特産品をPR

長崎県下全自治体の特設展示ブースでは、それぞれの自治体が観光や特産品をPRしました。また、ふるまいコーナーでは、長崎名物「長崎ちゃんぽん」（提供…蘇州林様）「長崎おでん」（提供…杉永蒲鉾様）「上対馬とんちゃん」（提供…対馬とんちゃん部隊）を来場者にご賞味頂き、地元長崎の食の美味しさもPRしました。

■著名人による 特別講演会を開催

展示商談会に加え、著名人による特別講演会を開催しました。青山学院大学教授 榊原英資氏からは「日本経済の展望」、スポーツジャーナリスト 一宮清純氏からは「スポーツから学ぶ勝者の組織改革」

と題してご講演頂きました。どちらの講演会も多くの方にお越し頂き、大変な盛況振りを見せていました。

■今後も、地元経済の 発展・振興に貢献する

本交流会では「ALL長崎を世界に売り込もう!!」を合言葉に、長崎県内の民間企業と自治体、そして親和銀行をはじめとしたFFGが一つになって、地元長崎の優れた商品・サービスをアピールして参りました。

今後も、FFGは地元経済の発展・振興に貢献するため、多様な金融商品に加え、各種商談会やビジネスマッチング、セミナー等の充実したサービスのご提供に努め、地域の皆様とともに歩んで参ります。





①ふるまいコーナーの「対馬とんちゃん」②本格派胡麻豆腐
③フリー商談 ④素材の味を試食 ⑤真剣なまなざしで説明を聞く学生〔併催した長崎就職企業説明会（長崎県主催）〕

親和銀行
福岡銀行
熊本銀行

長崎ビジネス交流会 2013

日時

2013年12月6日(金)
10:00~16:00

会場

長崎県立総合体育館
(アリーナかぶとがに)

出展企業

174社 入場無料
※こだわり食材商談会40社含む

来場者数

約4,000名

展示商談・フリー商談

- 食品ゾーン
- ものづくりゾーン
- まちづくりゾーン
- シルバービジネスゾーン
- ソリューションビジネスゾーン
- 産学官連携ゾーン

特別講演会

同時開催 長崎・佐世保・雲仙・ゆめ市場 キトラス
第4回 こだわり食材商談会

特集号

長崎ビジネス交流会2013 開催記念

特別対談

※本稿は、長崎新聞の特集号(平成25年12月1日朝刊)に掲載されたものを、一部編集して再掲載したものです。

長崎県知事

中村 法道

長崎新聞社
取締役副社長

小川 完二



親和銀行頭取

小幡 修



技術を世界に売り込もう!!

【座談会テーマ】
長崎ブランドの
振興と販路拡大
について

長崎県知事

中村 法道 なかむら ほうどう

1950年長崎県南島原市生まれ。1973年に長崎大学経済学部を卒業後、長崎県に採用。企画部国際課長、福祉保健部県立病院課長、企画部企画調整課日蘭交流400周年事業推進室長、総務部秘書課長、対馬支庁長、農林部長、総務部長を経て、2009年4月に副知事へ就任。翌2010年より長崎県知事を務め、現在に至る。



長崎新聞社取締役副社長

小川 完二 おがわ かんじ

1948年長崎県長崎市生まれ。1971年に東京大学経済学部を卒業後、長崎新聞社に入社。編集局報道部、五島、大村の両支局長を経て、県政キャップとして雲仙・普賢岳噴火災害報道などを中心的に担当。1994年編集局報道部長。東京支社長、取締役広告局長、常務取締役営業担当・販売局長、専務取締役を務め、2012年取締役副社長へ就任、現在に至る。



長崎ビジネス交流会 2013 開催記念特別座談会

大規模商談会「長崎ビジネス交流会2013」開催を記念して、主催者である親和銀行の小幡修頭取と、長崎県の中村法道県知事、そして長崎新聞社の小川完二副社長による座談会を実施しました。イベントにかける思いや「長崎ブランドの振興と販路拡大」など、さまざまな角度から意見を交わしました。

オール長崎で、長崎県と13市8町の県下全自治体が共催

小川副社長（長崎新聞社） 「長崎ビジネス交流会2013」では約180社の出席に加え、長崎県および県下全21自治体の

ブースが設けられます。また、国内外のバイヤーなども多数参加します。まず今回の

イベントに対する知事の率直なご感想をお聞かせいただけますか？

中村知事（長崎県） これだけ大きな商談会が長崎で開催されるのは大変珍しく、本県にとってありがたい限りです。ご参加される皆様はぜひこの機会を有効に活用され、さらなる飛躍につなげていただきたいと思っています。

小幡頭取（親和銀行） 県下全自治体から出展企業がブース展示を行い、当日の会場は、まさに「オール長崎」といった雰囲気になるでしょう。「食品」を中心に「ものづくり」「まちづくり」といったブースでの商談をはじめ、長崎・佐世保・雲仙主催のこだわり食材商談会、著名人による特別講演会なども実施します。今回のイベントはビジネスマッチングの場ですが、「長崎」の魅力もいっしょに感じてもらえるような場にしていきたいと考えています。

小川副社長 親和銀行が、長崎市内でビジネス交流会を開くのは2008年以来2回目と聞いています。今回のイベントの目的は何でしょうか？

小幡頭取 長崎県には、ちゃんぽんやカステラといった既に「全国区」と言えるほど知名度が高いものだけでなく、埋もれている

長崎ビジネス交流会 2013
開催記念特別座談会

長崎の優れた名産、

逸品も数多くあります。また、ものづくりの分野でも、世界に誇れるような質の高い工業製品がたくさんあります。そういった異業種の皆様をつなぎ、一堂に会することができるとは、金融機関が主催する交流会ならではのメリットだと思います。今まで取引がなかった企業の間で新たなビジネスチャンスが生まれたり、思いもよらぬ方向から商談が成立するなど、さまざまな効果が期待できますね。

小川副社長 今回の開催にあたって特に力を入れた点があれば教えてください。

小幡頭取 交流会のテーマに掲げる「オール長崎を世界に売り込もう!!」に尽きると思います。「オール長崎」とは、長崎県内の民間企業と自治体が一つになり、さまざまな側面で協力し合うということです。文字通り、長崎県と県内全ての21市町が今回のイベント趣旨に賛同し、共催という形で参加してくださいました。これまでも自治体の後援をいただくことはありましたが、これだけ多くの自治体が金融機関主催のイベントに共催するのは、私を知る限り初めてですね。銀行業務も預金や融資だけでなく、事業や販路の拡大などのお手伝いをやっていくことで、新たなビジネスと

親和銀行頭取

小幡 修 おばた おさむ

1948年長崎県佐世保市生まれ。1967年に佐世保北高卒業、1972年に西南学院大学を卒業後、福岡銀行へ入行。法人営業部長、営業統括部長兼国際部長、取締役本店営業部長、常務取締役、専務取締役を経て、2007年ふくおかフィナンシャルグループ取締役、2010年福岡銀行代表取締役副頭取。2012年4月に親和銀行頭取へ就任、現在に至る。



資金ニーズを掘り起こしていくことが求められています。当行でも、精力的に事業に取り組んでおられる取引先に税制優遇措置や補助金制度を活用した新規投資をおすすめしたり、コンサルティング営業部という提案営業を専門に行っている部署が直接お客様を訪問したりしています。当行内では、「待ちの姿勢ではなく、お客様のニーズに前向きに対応していこう」と号令をかけているところです。また、今回は、当行との取引有無に関係なく、出展希望があった場合は出展いただいています。つまり、メインバンクがどこの銀行かということに拘らず、ビジネスチャンスを掴んでいただければと思います。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

長崎ビジネス交流会2013

～**ALL長崎**を世界に売り込もう!!～



親和銀行



福岡銀行



熊本銀行

長崎ブランドの魅力は、多種多様に揃っていること

中村知事 「オール長崎」をテーマに掲げて今回のイベントを企画していただいたことは、大変意義深いと思います。離島が県の面積の約40%を占める長崎県では、三方を海に囲まれ、四季折々豊かな自然に触れることができます。食べ物ではアジ、サバ、タイなど豊富な魚種を誇る海の幸や、ばれいしよ、いちご、アスパラガスなどの農産物、そして昨年、第10回全国和牛能力共進会で日本一に輝いた長崎和牛など、素晴らしい産物が数多くあるのが特徴です。その一方で、先ほど頭取がおっしゃったように、「埋もれた」逸品がたくさんあることも事実。全国に通用する優れた逸品が豊富にあるので、「長崎ブランド」として確立していくことが大きな課

題でもあるんです。

小川副社長 おっしゃる通り、長崎には養殖トラフグや橘湾のハモといった国内有数のいいものがあります。しかし発信力が弱く、全国的に知られていないのはもったいない。食材の宝庫であることに自信を持ち、「日本一「美味しい県」



写真左から小幡頭取、中村県知事、小川副社長。和やかな雰囲気の中で、活発な意見交換が行われました。

を目指してほしいですね。小幡頭取から見て「長崎ブランド」の魅力とは何でしょうか？

小幡頭取 長崎や九州を出た時に感じるのは、長崎の食べ物は本当に美味しいということです。例えば、福岡の人が長崎の居酒屋ですり身揚げを食べると、同じ九州にいるのに絶賛します。他にも、五島うどんや壱岐の焼酎も素晴らしいですね。地元の人にとっては「当たり前」過ぎて、その良さに気付かないケースもあるのかもしれない。知ってもらえば必ず喜んでもらえるのに、残念ながら今は売り込む場が少ないように感じます。

中村知事 頭取の意見に同感ですね。本県はこれまで、原料供給県に甘んじていた側面もあります。例えば和牛についてですが、本県はもともと子牛生産県で、県外に子牛が出荷されていました。良い血統の子牛がいるのに「長崎」が全然



長崎ビジネス 交流会 2013 特別講演会



スポーツジャーナリスト 二宮清純氏
講演テーマ「スポーツから学ぶ勝者の組織改革」



青山学院大学教授 榊原英資氏
講演テーマ「日本経済の展望」

表に出てこなかったんです。現在では、肥育生産体制を強化し、また平成25年5月には、「長崎和牛」という地域団体商標も登録し、ブランド強化を図っているところです。

首都圏や関西圏の消費者へ日本一の長崎和牛をアピール

小川副社長 「長崎ブランド」を発信するため、県はどのような取り組みを進めていますか？
中村知事 事業の変遷はありますが、「長崎ブランド」のPRは関東や関西といった大消費地での知名度アップを目的に、平成16年度から特に力を入れています。今年度は、日本一の長崎和牛を首都圏の皆様を知っていただくため、羽田空港や浜松町など首都圏4カ所に長崎和牛の電飾看板等を設置し、日本一の美味しさをアピールしています。



平成24年10月に開催された(第10回全国和牛能力共進会)で、見事日本一に輝いた「長崎和牛」。

小川副社長 長崎和牛を県外で食べられますか？

中村知事 現在、長崎県では「長崎和牛指定店・協力店制度」を設けていて、常時取り扱っている「長崎和牛指定店」と期間限定の「協力店」があり



平成「長崎俵物」は、長崎県産の旬の海産物を原料にした水産加工品の中で、厳格な基準をクリアした商品だけに与えられる信頼のブランド。

ます。全体で408店舗、うち県外は関西中心に90店舗あります。イベントによるPRも大事ですが、それが後に続くことも考えなければなりません。今後は、正当な価格で取引する販路の確保や値段交渉の仕組みづくりも必要です。

小川副社長 他の産品についてはいかがでしょう？

中村知事 長崎が誇る水産加工品は、現在認定商品113種を平成「長崎俵物」としてブランド化し、一定の評価を受けています。また、県が自信を持っておすすめる農産加工品ブランド「長崎四季畑」も平成23

ユーモの現場レポート その①

＼＼ こんにちは ＼＼

テレビの取材をうけたよ

小さなお子さまも来てくれたよ

たくさんの人たちに会えたよ！

年度に創設し、現在15品目が
認証されています。最も力を
入れている「食材の宝庫ながさ
きブランド確立事業」では、今
後も知名度を上げ、販路を広
げる取り組みを生産者団体
などと協力して実施。百貨店
や高級スーパー等の地下食品
売場を長崎県の生鮮・加工食
品で占め販売する「長崎フェ
ア」の開催や、生産者のこだわ
りを実際に肌で感じてもらお
うと、バイヤーを産地に招き、
生産者と直接意見を交わして
もらいながら、こだわりの味を
確認してもらうような取り組
みも積極的に行っています。県



福岡の博多座向かいにある「キトラス」は、長崎弁で「来とらす(来ていらっ
しゃる)」という意味のアンテナショップ。

産品の良さをたくさんの人に
認めていただき、一人でも多く
の方に長崎のファンになってほ
しいと思います。
小幡頭取 優れたブランドを
売り込むため、さまざまな策
を講じていらっしやいますね。

これまで自治体と銀行が一体
になってブランドを売り込む
のは恐らくなかったと思いま
すが、私どもの銀行を上手に
活用していただくことも手法
の一つではないでしょうか。福
岡市にある長崎、佐世保、雲
仙3市のアンテナショップ「キト
ラス」に代表されるように、今
後も地元の金融機関と自治
体が協力することによって、新
たなビジネスモデルが生まれ
ることも十分考えられますか
らね。

中村知事 今年8月、タイで
長崎和牛の試食会を開きま
したが、準備段階からふくお

新たな雇用創出を

2013年12月
ウエストテクノ
工業団地 誕生

佐世保



ながさき海洋環境
産業拠点特区

認定



五島桧島沖合に設置された「浮体式洋上風力発電施設」は、巨大な風車を使って次世代の海洋再生エネル
ギーを検証する実証フィールド。

★カメラ★ ユーモの現場レポート その② ★📍★

おいしい食べ物や暮らしが便利になるモノがいっぱい!

**対馬
とんちゃん**

長崎おでん

**就職
説明会**

精密機械

学生さんいっぱい

サンタになってみたよ

《おいそう》

《ラッピングバスで
お出迎えしたよ》

かフィナンシャルグループ（FFG）のバンコク駐在員事務所の方大変お世話になりました。グローバル化を望む企業にとって、そういった海外拠点には、今後も心強い存在になるのではないかと思いますね。

企業と金融機関との連携がさらなる飛躍のカギ

飛躍のカギ

小川副社長 今後、物産、観光など優れた「長崎ブランド」を全国、そして世界に売り込むために必要なことは何とお考えでしょうか？

小幡頭取 いかに地元企業の皆様と自治体、金融機関が連携していくかがカギになると

思います。ふくおかフィナンシャルグループ（FFG）は、上海や大連、香港、シンガポール、バンコク、ニューヨークに海外駐在員事務所を設けていますし、海外銀行との提携も行っています。また、行員の見聞を広めるため、海外視察研修を継続して実施しており、当行はこれまでに約100名が参加しています。海外マーケットの見学から実際の商談まで、親和銀行の26本支店に設けた「海外サポート窓口」でご相談

を受け付けていますので、お気軽にご利用いただければと思います。

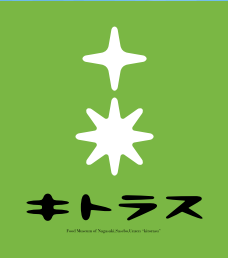
小川副社長 それでは最後に、出展企業の皆様や参加者にひと言お願いします。

小幡頭取 今回の交流会で、全てが完結する訳ではありません。この機会をスタートとして捉え、積極的にいろんな方々と交流していただき、皆様の新しいビジネスやネットワークを広げる一助となれば幸いです。オール長崎で協力し合い、全国、そして世界へ羽ばたきましよう。

長崎 佐世保
雲仙 ゆめ市場

キトラス

アンテナショップ



キトラス

上川端商店街
入口
博多座前



長崎県の新しい観光ポスター